

	第2学年	三 次 市 立 塩 町 中 学 校	指導者 妹尾 美和
単元名	7 表現を見つめて 「走れメロス」		
本単元で育成する資質・能力		思考力・判断力、コミュニケーション力	

- 1 日 時 令和3年1月26日（火） 6校時
- 2 学年・学級 2年B組（男子15人 女子9人 計24人）
- 3 単元名 「走れメロス」 太宰治 著 （国語2 光村図書）
- 4 本単元を指導するにあたって

【単元観】

本単元は、国語科学習指導要領中学校第2学年「B 書くこと」の「ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと」、「C 読むこと」の「イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること」、また、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項（イ）抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること」の、3つの内容をねらいとする。

今回学習する「走れメロス」は、「友情と信頼」「自己形成」「人間の善悪」「人間の持つ多面性」など、多様な主題が含まれる作品である。これらはすべて、自己と他者との関わりについて考えさせられる内容であり、多感なこの時期の生徒にとっては、自由に様々な読み方のできる内容となっている。よって、登場人物の心情について読み取る中で、様々な視点で考えることの大切さや、自分と他者のものの見方や考え方の相違について考えさせるのに適した作品であると考え、この単元を設定した。

【指導観】

指導にあたり、まずは描写から読み取れることや自分の考えをしっかりと記述するため、個人思考の時間を十分に確保する。その際、生徒自身が自分なりに考えた言葉で丁寧に表現させたい。机間指導の際には、キーワードに着目した読み取りや良い表現をその都度評価したり、そこからさらに深く読み取れるようにアドバイスをしたりして、主体的な学びを促す。また、個で読み取った後は班や全体で交流し、聞き取った意見から解釈を広げさせ、自分の文章を推敲することで、考えの深まりを実感できるようにする。

振り返りでは、自分の意見と交流で得た他者の意見を比較し、自分の考えがどう広がりどう深まったのかを考えさせることで、より深い作品の読解につなげたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 読み取ったことを自分なりの表現で自由に書くよう指導する。
- 交流の際、互いの意見について感想や意見を述べ合うことで、考えを広げたり深めたりさせる。

【基礎・基本の定着】

（1）習得すべき基礎・基本について

- 語句の意味を正確に理解し、文章の内容を理解できる。
- 文中に使われている様々な表現技法について、その用法と効果が理解できる。

- 自分の考えを正しい文法で文章にすることができる。

(2) 定着への手立て

- 副教材や辞書を活用し、語句の意味を理解させる。
- 表現技法に着目した読み取りで、その用法と効果を理解させる。
- 心情読み取りの際の机間指導で、適宜書き方を指導する。

5 単元の目標

- 新出漢字や既習漢字を正確に読み、書くことができる。
- 語句の意味や表現技法の用法、情景描写の効果が理解できる。
- 登場人物の関係や話の流れが理解できる。
- 表現技法や情景描写から登場人物の心情を読み取ろうとする。
- 作品を読んだ感想を自分なりの表現で正しく文章にすることができる。

6 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
①作品を読んで、登場人物の心情や考えを読み取り、自分のものの見方や考え方と比較し考えを広げたり深めたりしている。	①作品を読んで感じたことや学んだことについて、わかりやすい描写になるよう工夫して書いている。	①描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。 ②場面の展開を理解し、使われている表現方法に注目して読み取りをしている。	①文中の語句について理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい6つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区6能力				
カテゴリー 【学力の3要素】 《評価の3観点》	資質・能力			
【思考力・判断力・表現力等】 《思考力・判断力・表現力等》	①思考力・判断力 (筋道を立てて考え自分で決める力)	○	②表現力 (自分を表現する力)	◎
【学びに向かう力・人間性】 《主体的に学習に取り組む態度》	③課題発見力 (情報を活用し課題をつかむ力)		④コミュニケーション力 (関わる力)	○
	⑤キャリア形成力 (課題解決のために努力する力)		⑥感謝・貢献 (他者に感謝し自分を役立てる力)	

- 思考力・判断力 …… 文章中のさまざまな描写から登場人物の心情を読み取ることができる。
- 表現力 …… 読み取った登場人物の心情を自分なりの表現で文章にすることができる。
- コミュニケーション力 …… 他者との意見交流から、自分の考えを広げたり深めたりできる。

8 指導と評価の計画(全10時間)

次	学習内容 (時数)	評 価 価										
		関	書	読	言	評価規準 (評価方法)	資質・能力					
1	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ CDで作品を読み、内容を捉える。 (1)	○			◎	ア①, オ① (行動観察)	①思考力, 判断力 (行動観察)					
2	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ CDで作品を読み、内容を捉える。 ○ 使われている表現技法を見つけ、用法を理解する。 (1)	○			◎	ア①, オ① (行動観察)	①思考力, 判断力 (行動観察)					
3	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ 文章の表現の特徴を見つけ、その効果について考え、意見交流をする。 (1)	○			◎	ア①, オ① (行動観察)	①思考力, 判断力 (行動観察)					
4	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ 王の表情の描写から、その人物像を読み取る。 ○ 読み取ったことを交流する。			○		エ①② (ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート) ②表現力 (ノート) ④コミュニケーション 力 (交流)					
	「王の心情を読み取ろう」 王様の表情の描写から、彼がどんな人物でこの場面でどういう心情なのかを読み取って書きましょう。「蒼白」「しわは刻み込まれたように深かった」の二つのキーワードに着目してみましょう。											
	評価指標 (ルーブリック) <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>						A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。	B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。	C	・ Bに達しない。
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。											
B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。											
C	・ Bに達しない。											
	(1)											
5	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ メロスとの再会の場面でのセリヌンティウスの心情を読み取る。 ○ 読み取ったことを交流する。			○		エ①② (ノート)	①思考力, 判断力 (行動観察, ノート) ②表現力 (ノート) ④コミュニケーション 力 (交流)					
	「セリヌンティウスの心情を読み取ろう」 メロスとのやり取りの描写から、彼がどういう心情なのかを読み取って書きましょう。「無言でうなずき」「ひしと抱きしめた」の二つのキーワードに着目してみましょう。											

	評価指標（ルーブリック） <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>							A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。	B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。	C	・ Bに達しない。						
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。																		
B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。																		
C	・ Bに達しない。																		
	(1)																		
6	帯漢字テストと音声活動の実施 ○ 擬人法から読み取りをする。 ○ 読み取ったことを交流する。			○		エ①② (ノート)	①思考力，判断力 (行動観察，ノート) ②表現力 (ノート) ④コミュニケーション 力 (交流)												
	「擬人法からメロスの心情を読み取ろう」 擬人法の描写から，メロスにはそれがどのように聞こえたのかを書きましょう。 「こんこんと」「ささやきながら」の二つのキーワードに着目してみましょう。																		
7	評価指標（ルーブリック） <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>							A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。	B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。	C	・ Bに達しない。						
	A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き，キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。																	
B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り，それについて自分なりの表現で文章が書けている。																		
C	・ Bに達しない。																		
	(1)																		
7	帯漢字テストと音声活動の実施 ○ 夕日の描写から，時間の流れとメロスの様子，心情の変化を理解する。			○		エ①② (行動観察)	①思考力，判断力 (行動観察，ノート) ④コミュニケーション 力 (交流)												
	(1)																		

8	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ 王の表情の描写から、その人物像を読み取る。 ○ 読み取ったことを交流する。					エ①② (ノート)	①思考力、判断力 (行動観察、ノート)					
	「王の心情を読み取ろう」 王様の言動の描写から、彼の心情を読み取って書きましょう。「まじまじと」「静かに」「顔を赤らめて」の三つのキーワードに着目してみましょう。						②表現力 (ノート)					
	評価指標 (ルーブリック) <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>						A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。	B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。	C	・ Bに達しない。
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容についてより深く読み取っている。											
B (良い)	・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。											
C	・ Bに達しない。											
		(1)										
9	帯 漢字テストと音声活動の実施 ○ これまでの学習をもとに感想文を書く。					ウ① (作文)	①思考力、判断力 (行動観察、ノート)					
	「感想文を書こう」 これまでの読み取りを踏まえて感想文を書きましょう。文章の構成を工夫して、自分の考えがしっかりと読み手に伝わるように表現を工夫しましょう。						②表現力 (ノート)					
	評価指標 (ルーブリック) <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書いている。 ・ 学習で深めた自分の考えをさらに広げ、自身の今後につながる内容について書けている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ 授業での学習や交流で深めた読み取りを踏まえて自分なりの表現で文章が書けている。 ・ 構成や表現を工夫し、読みやすい文章が書けている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>						A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書いている。 ・ 学習で深めた自分の考えをさらに広げ、自身の今後につながる内容について書けている。	B (良い)	・ 授業での学習や交流で深めた読み取りを踏まえて自分なりの表現で文章が書けている。 ・ 構成や表現を工夫し、読みやすい文章が書けている。	C	・ Bに達しない。
A (素晴らしい)	・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書いている。 ・ 学習で深めた自分の考えをさらに広げ、自身の今後につながる内容について書けている。											
B (良い)	・ 授業での学習や交流で深めた読み取りを踏まえて自分なりの表現で文章が書けている。 ・ 構成や表現を工夫し、読みやすい文章が書けている。											
C	・ Bに達しない。											
		(1)										
後日	学年末試験 ○ 表現技法の用法 ○ 接続詞の理解 ○ 内容理解 ○ 登場人物の心情読み取り					○ オ① ○ オ① エ①② ウ①	①思考力、判断力 (学年末試験)					
							②表現力 (学年末試験)					

9 本時の展開

(1) 本時の目標

擬人法を使った描写からメロスの心情を読み取り、自分なりの表現でそれを書くことができる。

(2) 観点別評価規準

エ①② 表現技法を使った描写からメロスの心情を読み取り、自分なりの表現でそれを書くことができる。

(3) 準備物

教科書，ノート，漢字練習ノート，国語ファイル

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入	○漢字テストをする。 ○音声活動をする。	●しっかり大きな声を出させることで、文章に親しませる。 振り返り① 前時の読み取りを振り返る	
展開	○自己評価に本時の学習目標を書く。 ○範読を聞き、読み取る文に線を引く。 ○線を引いた文をノートに視写する。 ○キーワードを探し、全員で確認する。 ○この時間の評価指標を知る。	●今日の学習目標を板書し、自己評価に書かせる。 擬人法の描写からメロスの心情を読み取ろう。 ●読み取りをする部分を範読することで、作品の世界に浸らせる。 ●何回か音読させることで、全員に読み取る文が周知されたかを確認する。 ◆机間を回り、取り掛かりが遅い生徒に声掛けをする。 ●キーワードを探すことで、それらに着目すれば読み取りやすくなることに気づかせる。(板書した文に色チョークで印をつけ、全員に把握させる。)	
評価指標 (ルーブリック)			
A (素晴らしい)		・ Bに達している。 ・ 指定された行数以上書き、キーワードから連想される内容について、より深く読み取っている。	
B (良い)		・ キーワードに着目して人物の心情を読み取り、それについて自分なりの表現で文章が書けている。	
C		・ Bに達しない。	

	○キーワードに着目しながら読み取りをする。 ○読み取ったことを班で交流する。	●3行を目標に書くことで、読み取りの内容をより広げて書こうという意欲を高めさせる。 ●キーワードだけにこだわらなくてよいことを補足することで、他の場面にも注目させる。 ◆視写した文以外でヒントになりそうな個所を示したり誘導する質問で言葉を引き出したりする。 ☆これを飲んで最後まで頑張りなさい。 ☆あきらめてはいけない。立ち上がって進みなさい。 ☆お前が行かなければ誰が行くのか。友はどうなる。 ☆友とのきずなはそんなものだったのか。責任を果たしなさい。 ☆自分に負けてはいけない。まだ時間はある。望みを捨てるな。 ☆心を落ち着けなさい。神はまだお前を見捨てていない。 ●発表しあうだけでなく、互いの読み取りについての意見交流になるようにすることで、自分の考えを広げたり深めたりさせる。	エ① 描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てている。 エ② 場面の展開を理解し，使われている表現方法に注目して読み取りをしている。 【思考力，判断力】 【表現力】 【コミュニケーション力】 (ノート)
	○意図的指名で全体交流をする。	【交流方法】 班隊形になる（4人） ①順番に自分の書いた文章を読みあう。聞き手はノートにメモを取る。 ②聞き取った意見をもとに，そう思った理由や疑問に思ったことなどを交流する。 ③交流をもとに自分の文章を推敲する。（振り返り②） 振り返り② 交流をもとに自分の文章を推敲する ●意図的指名で発表させることで，同じ内容の読み取りでも表現の仕方の違いがあったり，より具体的な表現ができたりすることに気づくことができる。	
まとめ	○自己評価に今日の学びを書く。	振り返り③ 本時の学びを振り返り，自分の考えと交流で得た他者の意見を比較し，自分の考えがどう広がり深まったかを考える視点にして自己評価に記入する ☆自分は励ましていると読み取ったが，叱っているという意見もあってなるほどと思った。 ☆神や友の声だという意見は思いつかなかったのので，自分の思考の幅が広がった。 ☆励ましの言葉にもたくさんの表現の仕方があることを知り，語彙力が高まった。	

10 板書計画

学習目標	擬人法の描写からメロスの心情を読み取ろう
岩の裂け目からこんこんと、何か小さくささやきながら清水がわき出ている。	